

## 平成28年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	徳永
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		経常的経費		<b>内線</b>	3642
<b>事務事業名</b>	4290 特別保育事業											
<b>所 属</b>	300200 教育委員会事務局・子ども課											
<b>施 策</b>	02020900 子育て環境の充実											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	030203 民生費・児童福祉費・保育所費										
	<b>事業</b>	040000 特別保育事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
保育時間の延長、乳児保育、一時的保育、病後児保育、障がいのある子どもへの対応など、多様化する保育ニーズに対応するとともに、地域活動を通じて保育園児の豊かな心や保護者の子育て支援を図る。						保育時間の延長、乳児保育、一時的保育、病後児保育、障がいのある子どもへの対応により地域活動を通じて保育園児の豊かな心や保護者の子育て支援を図れた。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>平成27年度 実績</b>	<b>平成28年度 予定</b>
延長保育延児童数 4,157人 特別支援保育 34人 一時保育 276人 乳児保育 449人 病後児保育 88人	延長保育延児童数 4,300人 特別支援保育 32人 一時保育 180人 乳児保育 420人 病後児保育 60人を予定
<b>平成29年度 予定</b>	<b>平成30年度 予定</b>
<b>平成31年度 予定</b>	<b>平成32年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		60,813	70,828
特定財源	国庫支出金	1,404	1,404
	都道府県支出金	1,404	1,404
	地方債	0	0
	その他	40,572	5,873
一般財源		17,433	62,147
人員数(人)	正規職員	3.4	3.4
	嘱託職員	5.2	5.2
	臨時職員	66.0	65.0
人員コスト	正規職員	24,507.2	24,507.2
	嘱託職員	14,066.0	14,066.0
	臨時職員	67,980.0	66,950.0
	計	106,553.2	105,523.2
市民一人当たりの経費		3.2	3.4
総額		167,366.2	176,351.2

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,468	消耗品費等
13節 委託費	1,998	英語指導、体育指導等
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	4,213	病後児保育負担金
その他	53,134	臨時職員人件費等

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	消耗品等
13節 委託費	2,043	英語指導、体育指導
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	4,213	病後児保育負担金
その他	64,572	臨時職員人件費等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	保育の実施にする上で必要不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	保育の実施にする上で大変有効	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	必要最低限の費用で実施している	

振り返り（決算年度の取組み課題）
保育の実施にする上で大変有効なので今後も実施する

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

延長保育、特別支援保育、病後児保育など、保護者の多様な保育ニーズに対応することができた

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

延長保育、乳児保育、一時的保育、病後児保育、支援を必要とする児等、多様化する保育ニーズに対応した支援を図ることができた。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--